



豊後街道・滝室坂が半世紀ぶり貫通！

昔の牛馬道を整備して道を開き、阿蘇をより楽しめるトレッキングコースを作り出しツアーを実施している、阿蘇北外輪トレッキング協議会（阿南善範会長）の皆さんが、このほど、険しく歩くことの出来なかった波野地区（道の駅から滝室坂の中腹）の豊後街道（参勤交代道）を開かれました。これにより、江戸時代使われていた道とほぼ同じ道筋を復元できたことになり、波野から二重の峠までの豊後街道を歩いて通ることが可能となりました。

早速、10月16～17日、ツアー「参勤交代道を歩く（笹倉～二重の峠）」が行われ、延べ100人の参加者が全長30kmの道のりを2日に分け歩きました。

参加者からの好評の声を受け、協議会では「阿蘇に住む人々を支えてきた草の道や古道が再び蘇えり、現在のトレッキング道として活用され、歴史や文化を伝える道となるよう、これからも活動を続けたい」と感想を述べられました。

※苦勞した道つくりの様子や各コースは、協議会のホームページに紹介してあります。



▲川底が深いところも階段や橋をとりつけ、歩けるよう整備されました。



◀協議会が苦勞し整備した道に感謝をしながらツアーを楽しむ参加者



地域ぐるみで 中通フェスティバル



中通小学校児童による人権劇フィナーレの様子

第13回中通フェスティバルが10月17日、中通小学校の体育館で開催されました。ステージの部では中通小の児童が人権劇を披露したほか、大道芸、地域の人による歌や踊りがありました。また展示の部では、作品展、大正5年からの卒業写真展、ジオパーク展、カボチャコンテストなどがあり、りんどう保育園児の茶道教室、美味しい食のバザーも大賑わいで、地域交流の良い一日となりました。

「元気でいてね！」キジの放鳥



10月1日行われた乙姫の原野での放鳥の様子。「あそひかり幼稚園」の園児たちが、キジを大空へ飛ばしました。

阿蘇地域でも数が減少しているキジ。その原因は、木材価格の低迷で山の手入れが行き届かなくなりキツネやタヌキが増え食べられてしまうことなど。

キジは本市を象徴する「市の鳥」でもあり減っているのは残念。対策として、熊本県や県猟友会ではキジの増殖を図り毎年放鳥を行っています。

今年は乙姫の原野を初め、鳥獣保護区13ヶ所で放鳥が行われ、阿蘇地域では120匹が放たれました。